



公益社団法人 日本てんかん協会 山梨県支部

話そう会

どなたでも
参加できます
待ってるよ

日時 平成26年6月28日（土）午後1時～午後4時
（12：40 受付開始）

場所 韮崎市民交流センターニコリ 1階 会議室7
（裏面に地図と1階のフロアマップがあります）

内容 ・小室聡さん（茨城県支部・当事者）の体験談
・参加者が普段感じていることや悩み、自分の思い
などを語りあう

参加費 無料

【連絡先】（お電話での連絡は、夜6時～9時の間にお願い致します）

代 表； 葛西ヨリ子 〒400-0214 南アルプス市百々3468-28
（TEL 055-285-3645）

事務局長； 山中八千代 〒400-0113 甲斐市富竹新田2068-16
（TEL 055-279-1546）

小室 聡（こむろ さとし）さんってどんな人？

小室さんは、てんかんのある当事者として、理不尽な経験や悔しさを積み重ねながら、てんかんに向き合ってきました。現在、茨城県支部の世話人として活躍しています。

1961年、茨城県に生まれ、4歳のころ「てんかん」と診断されました。

小学校から高校まで普通学級で学びました。しかし、修学旅行に参加できないなど、多くの制約も受けました。高校3年生の時に就職試験を数社受けましたが、てんかんであることを隠さず話したためすべて不合格でした。その後、障害者に理解ある会社と出会い就職。20数年勤務した後退職、再就職して現在に至っています。

2013年5月号の「波」に小室さんの声が掲載されています。その中から。

- ・親子間でどうしたいのかを確認して、その上で主治医に相談をする。それに基づいて、親と学校と子どもが継続的かつ有意義な話し合いを行えば、本人が望む方向が見つかり、それに向かって努力することができるでしょう。
- ・勇気を出して、自分の声で、てんかんについて発言する人が増えれば、てんかんは単に「治療可能な一般的な病気」として社会が認識するでしょう。
- ・てんかんを抱えていても充実した人生を送ることが可能であるということ、皆さんに知っていただきたい。
- ・「てんかんで何が悪い！」



